

総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会小委員会の設置について
 分科会等名:ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学小委員会

1	所属委員会名 複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>2016年に報告「大型レーザーによる高エネルギー密度科学の新展開」が公表された。その後、世界ではX線自由電子レーザーと大型固体レーザーによる高エネルギー密度科学研究が急速に進んだ。2018年には、チャープパルス増幅技術開発によりG.Mourou他がノーベル物理学賞を受賞し、欧米のハイパワーレーザーネットワーク整備や日米のレーザー核融合点火実験が進んだ。さらに、今年1月の日米シンポジウム(公開シンポジウム「ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学技術の展望」主催:総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会)で研究の新展開が議論され、新たな日米協力事業が日米両政府により調印された。</p> <p>以上の動向に鑑み、当該分野の持続的な発展、ネットワーク拠点構想、人材育成と国際連携等を議論する目的で、本小委員会を設置する。</p>
4	審議事項	<p>1. ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学の位置付けとネットワーク拠点構想</p> <p>2. ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学の国際連携(日米協力事業等)と若手人材養成の在り方</p> <p>3. 第6期科学技術基本計画への提言に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成31年3月28日～平成32年9月30日
6	備考	※23期より継続